

本場食品衛生検査所

理化学検査情報

Vol.83 2025 No.5
令和 7 年 10 月発行



今号の内容：令和 7 年 7 月から 9 月までに検査した

残留農薬検査結果
放射性物質検査結果
総水銀検査結果
自然毒検査結果
動物用医薬品検査結果

横浜市医療局中央卸売市場本場食品衛生検査所

電話：045-441-1153

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/shoku/shokuhineisei/>

1 残留農薬検査

令和7年7月から9月までの残留農薬検査は、国産農産物20検体(11種)について実施しました。
このうち農薬を検出した検体数は8検体(7農薬)で、残留基準値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

(1) 市場内流通農産物検査結果 検出値、基準値:検体1kgあたりに含まれる農薬のmg数(ppm)

検体名	産地	収去日	収去場所	検出農薬	結果	基準値
ダイコンの根	北海道	令和7年7月24日	本場市場	オキサミル	0.01	0.5
サツマイモ	茨城県	令和7年7月24日	本場市場	なし	不検出	なし
キュウリ	神奈川県	令和7年7月24日	本場市場	フルフェノクスロン	0.03	0.5
サラダ菜	千葉県	令和7年7月24日	本場市場	フルフェノクスロン	0.03	8
アールスメロン	茨城県	令和7年7月24日	本場市場	なし	不検出	なし
トマト	山形県	令和7年8月7日	南部市場	アゾキシストロビン	0.01	3
				フルフェノクスロン	0.01	0.5
サラダ菜	千葉県	令和7年8月7日	南部市場	なし	不検出	なし
ナス	秋田県	令和7年8月7日	南部市場	なし	不検出	なし
キュウリ	福島県	令和7年8月7日	南部市場	なし	不検出	なし
サツマイモ	茨城県	令和7年8月7日	南部市場	なし	不検出	なし
アールスメロン	茨城県	令和7年8月28日	本場市場	クロチアニジン	0.01	0.3
				フルフェノクスロン	0.05	0.4
キュウリ	神奈川県	令和7年8月28日	本場市場	フェンピロキシメート	0.03	0.4
				ブプロフェジン	0.02	1
青トウガラシ	青森県	令和7年8月28日	本場市場	なし	不検出	なし
ダイコンの根	北海道	令和7年8月28日	本場市場	なし	不検出	なし
キャベツ	群馬県	令和7年8月28日	本場市場	なし	不検出	なし
キュウリ	茨城県	令和7年9月25日	本場市場	ブプロフェジン	0.3	1
ナス	福島県	令和7年9月25日	本場市場	なし	不検出	なし
ネギ	青森県	令和7年9月25日	本場市場	なし	不検出	なし
サツマイモ	茨城県	令和7年9月25日	本場市場	なし	不検出	なし
日本ナシ	千葉県	令和7年9月25日	本場市場	ピフェントリン	0.02	0.5

検出した農薬について

農薬名	種類	特徴
アゾキシストロビン	ストロビルリン系殺菌剤	1992 年に開発された。ミトコンドリアのチトクローム bc1 複合体の Qo 部位に結合することで電子伝達系を阻害し、菌の呼吸を阻害すると考えられる。なお、本化合物の有効成分は立体異性体のうち E 体のみである。
オキサミル	カーバメート系殺虫剤	コリンエステラーゼ活性阻害による神経伝達阻害により殺虫活性を有する。日本では 1981 年に初めて登録された。
クロチアニジン	ネオニコチノイド系殺虫剤	1988 年に日本企業で開発された。作用機構は昆虫中枢神経系のニコチン性アセチルコリン受容体に対するアゴニスト作用である。日本では 2002 年に初めて農薬登録された。
ピフェントリン	ピレスロイド系殺虫剤	1977 年に開発され、昆虫の神経軸索の神経膜に作用し、ナトリウムチャネルの働きを乱し、神経刺激の軸索伝導を阻害し、昆虫を死に至らしめる。我が国では、1992 年に初めて登録された。
フェンピロキシメート	フェノキシピラゾール系殺虫剤	ミトコンドリア伝達系の阻害により殺ダニ作用を示す。1991 年に日本で農薬登録された。
ブプロフェジン	チアジアジン環を有する殺虫剤	1977 年に日本企業により開発された殺虫剤である。作用機構は、脱皮異常による殺幼虫作用及び産下卵の不孵化である。1983 年に初回農薬登録がなされて以来、稲、野菜、果樹、茶等を対象に登録されている。
フルフェノクスロン	ベンゾフェニル系殺虫剤	作用機序はキチン質の合成阻害によるものである。欧米諸国や中南米、アフリカ諸国等 40 か国以上で農薬登録されており、日本では 1993 年に初めて登録された。

参考：内閣府食品安全委員会 食品安全情報システム 評価書

環境省 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について
農業工業会

2 放射性物質検査

令和 7 年 7 月から 9 月までの放射能検査は、水産物 24 検体、農産物 6 検体、合計 30 検体について実施しました。基準値を超えた検体はありませんでした。

放射性セシウムの基準値はセシウム 134 とセシウム 137 の合計で設定されています。

- 乳児用食品については 1kg あたり 50 ベクレル以下
- 飲料水については 1kg あたり 10 ベクレル以下
- 牛乳については 1kg あたり 50 ベクレル以下
- その他、一般食品については 1kg あたり 100 ベクレル以下

(1) 水産物検査結果

セシウム検出値、合計:1 kgあたりのベクレル数

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム 134 検出値	セシウム 137 検出値	セシウム 合計	備考
ニシン	北海道	北海道・青森県沖 太平洋根室港	令和 7 年 7 月 11 日	不検出	不検出	不検出	天然
マダイ	青森県	北海道・青森県沖 太平洋青森港	令和 7 年 7 月 11 日	不検出	不検出	不検出	天然
ヒラメ	青森県	北海道・青森県沖 太平洋青森港	令和 7 年 7 月 11 日	不検出	不検出	不検出	天然
ギンザケフィレ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和 7 年 7 月 18 日	不検出	不検出	不検出	養殖
カツオ	宮城県	北海道・青森県沖 太平洋気仙沼港	令和 7 年 7 月 25 日	不検出	不検出	不検出	天然
チダイ	岩手県	三陸北部沖大船渡港	令和 7 年 7 月 25 日	不検出	不検出	不検出	天然
マアジ	岩手県	三陸北部沖大船渡港	令和 7 年 7 月 25 日	不検出	不検出	不検出	天然
チダイ(花鯛)	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和 7 年 8 月 8 日	不検出	不検出	不検出	天然
クロメバル	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和 7 年 8 月 8 日	不検出	不検出	不検出	天然
ホウボウ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和 7 年 8 月 8 日	不検出	不検出	不検出	天然
マイワシ	千葉県	日立・鹿島沖銚子港	令和 7 年 8 月 22 日	不検出	不検出	不検出	天然
マアジ	千葉県	房総沖勝山港	令和 7 年 8 月 22 日	不検出	不検出	不検出	天然
スルメイカ	青森県	北海道・青森県沖 太平洋八戸港	令和 7 年 8 月 22 日	不検出	不検出	不検出	天然
チダイ(花鯛)	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和 7 年 8 月 29 日	不検出	不検出	不検出	天然
マゴチ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和 7 年 8 月 29 日	不検出	不検出	不検出	天然
スルメイカ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和 7 年 8 月 29 日	不検出	不検出	不検出	天然
サンマ	北海道	日本太平洋沖合北部 花咲港	令和 7 年 9 月 5 日	不検出	不検出	不検出	天然
秋鮭フィレ	北海道	北海道・青森県沖 太平洋斜里港	令和 7 年 9 月 5 日	不検出	不検出	不検出	天然

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム 134 検出値	セシウム 137 検出値	セシウム 合計	備考
メダイ	宮城県	三陸南部沖気仙沼港	令和7年9月5日	不検出	不検出	不検出	天然
スルメイカ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和7年9月19日	不検出	不検出	不検出	天然
シログチ(石持)	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和7年9月19日	不検出	不検出	不検出	天然
チダイ(花鯛)	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和7年9月19日	不検出	不検出	不検出	天然
サンマ	北海道	北海道・青森県沖 太平洋花咲港	令和7年9月26日	不検出	不検出	不検出	天然
マツカワガレイ	北海道	北海道・青森県沖太 平洋花咲港	令和7年9月26日	不検出	不検出	不検出	天然

(2) 農産物検査結果

セシウム検出値、合計:1 kgあたりのベクレル数

検体名	産地	買取日	セシウム 134 検出値	セシウム 137 検出値	セシウム 合計	備考
モモ	山梨県	令和7年7月4日	不検出	不検出	不検出	露地
オクラ	群馬県	令和7年7月4日	不検出	不検出	不検出	露地
インゲン	秋田県	令和7年7月4日	不検出	不検出	不検出	露地
スイカ	神奈川県	令和7年8月1日	不検出	不検出	不検出	露地
ピーマン	岩手県	令和7年8月1日	不検出	不検出	不検出	露地
モモ	福島県	令和7年8月1日	不検出	不検出	不検出	露地

3 総水銀検査

令和7年7月から9月までの魚介類の総水銀検査は、10検体(8魚種)について実施しました。このうち、暫定的規制値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

魚介類の水銀の暫定的規制値:検体1 kgあたり総水銀 0.4 mgかつメチル水銀 0.3 mg

総水銀検査結果

検出値:検体1 kgあたりに含まれる水銀のmg数(ppm)

検体名	産地	備考	収去日	検出値
ニシン	北海道	天然	令和7年7月10日	0.02
ヒラメ	青森県	天然	令和7年7月10日	0.10
マアジ	静岡県	天然	令和7年7月10日	0.03
アカカマス	神奈川県	天然	令和7年7月10日	0.07
ババガレイ(ナメタガレイ)	宮城県	天然	令和7年7月10日	0.04

検体名	産地	備考	収去日	検出値
ヒラマサ	宮城県	天然	令和 7 年 9 月 4 日	0.13
ヒラメ	青森県	天然	令和 7 年 9 月 4 日	0.07
サンマ	北海道	天然	令和 7 年 9 月 4 日	0.05
マアジ	長崎県	天然	令和 7 年 9 月 4 日	0.03
マダイ	新潟県	天然	令和 7 年 9 月 4 日	0.27

4 自然毒検査

貝毒検査

令和7年 7 月から 9 月までの貝毒検査は、下痢性、麻痺性ともに国産 6 検体、輸入 3 検体、合計 9 検体、4 種の貝について実施しました。LC/MS/MS による機器分析法により下痢性貝毒、マウス法により麻痺性貝毒を検査した結果、規制値を超過した検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

貝毒の規制値

- 下痢性貝毒は 1kg あたり 0.16 mgオカダ酸当量(注釈 1)以下
- 麻痺性貝毒は 1g あたり 4 マウスユニット(注釈 2)以下

注釈 1:オカダ酸当量とは、測定で得られたオカダ酸、ジノフィシストキシン-1、ジノフィシストキシン-2 の検出値に係数を乗じた値の総和のことを言います。

注釈 2:マウスユニットとは、貝およびフグ等様々な毒素の影響量に対する単位のことを言います。麻痺性貝毒の場合、体重 20 グラムのマウスが 15 分で死亡する毒力が 1 マウスユニットと定義されています。

貝毒検査結果

下痢性貝毒検出値:検体 1kg あたりのmg数(PPM)

麻痺性貝毒検出値:検体 1g あたりのマウスユニット

検体名	産地	収去日	下痢性貝毒検出値	麻痺性貝毒検出値
アサリ	北海道	令和 7 年 7 月 17 日	不検出	1.75 未満
ハマグリ	中国	令和 7 年 7 月 17 日	不検出	1.75 未満
アサリ	北海道	令和 7 年 7 月 17 日	不検出	1.75 未満
ハマグリ	千葉県	令和 7 年 7 月 17 日	不検出	1.75 未満
ホタテ	北海道	令和 7 年 7 月 17 日	0.01	1.75 未満
アカガイ	中国	令和 7 年 8 月 21 日	不検出	1.75 未満
ハマグリ	千葉県	令和 7 年 8 月 21 日	不検出	1.75 未満
アサリ	韓国	令和 7 年 8 月 21 日	不検出	1.75 未満
ハマグリ	千葉県	令和 7 年 8 月 21 日	不検出	1.75 未満

6 動物用医薬品検査(抗生物質、合成抗菌剤、ホルモン剤、内寄生虫用剤等)

令和7年7月から9月までの動物用医薬品検査は、うなぎ蒲焼5検体、鶏卵3検体について実施した結果、基準値を超える検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

動物用医薬品検査結果

検出値:検体1kgあたりのmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	検出薬剤	検出値	基準値
うなぎ蒲焼	中国	令和7年7月14日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼	中国	令和7年7月14日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼	中国	令和7年7月14日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼	中国	令和7年7月14日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼	中国	令和7年7月14日	なし	不検出	なし
鶏卵	秋田県	令和7年9月29日	なし	不検出	なし
鶏卵	青森県	令和7年9月29日	なし	不検出	なし
鶏卵	岩手県	令和7年9月29日	なし	不検出	なし